



開催要項あり
チラシあり

令和7年9月19日

市政記者クラブ 様

観光文化交流局名古屋城総合事務所

担当：瀬川、原 電話 231-2481

名古屋城西の丸御蔵城宝館^{おくらじょうほうかん}展示

「名古屋城本丸御殿の障壁画」 の開催について

名古屋城西の丸御蔵城宝館では、令和7年10月3日(金)から令和8年5月10日(日)まで、館内展示室において展示「名古屋城本丸御殿の障壁画」を開催します。

名古屋城本丸御殿の障壁画と天井絵は、合わせて1049面が現存します。江戸時代に制作された障壁画の多くは建物とともに失われましたが、名古屋城の障壁画の一部は戦火を免れ、現在もその美しさを伝えています。

障壁画の主題は、山水、人物、花鳥、走獣の大きく4つに分けられます。主題は部屋の格に応じて決められ、それをもとに御用絵師である狩野派が腕を振りました。本展は会期を4期に分け、各障壁画の主題とそれに関連する資料をあわせて紹介します。

I期「将軍を迎える」には上洛殿の障壁画を展示します。江戸幕府3代将軍・徳川家光を迎えるために贅を尽くした絵画と建築装飾を紹介します。

II期「にぎわう人々」では対面所「風俗図」に描かれた人々のにぎわいに焦点を当てます。令和7年度、名古屋市有形文化財に指定された「享元絵巻」をあわせて公開し、名所の景色に描かれた人々の様子をお楽しみいただきます。

III期「水の意匠」は湯殿書院「岩波禽鳥図」を中心に水の表現を取り上げます。波を描いた絵画から装飾として取り入れた工芸品などを比較しながらご覧いただきます。

IV期「春の花鳥」では会期の季節に合わせて春の花を描いた作品を紹介します。

上御膳所障壁画「枝垂桜図」に加え、「堀川観桜船図」（名古屋城振興協会蔵）など、明るく華やかな春の景色をお楽しみいただきます。

取材をご希望の場合は、開催に先立つ令和7年10月2日(木)午後2時から対応できますので、随時名古屋城調査研究センター（tel. 231-2481）までご一報ください。市政記者クラブの皆様方には積極的に取材・広報いただきますようお願い申し上げます。

記

1 名古屋城西の丸御蔵城宝館展示 「名古屋城本丸御殿の障壁画」概要

(1) 会期

I期「将軍を迎える」令和7年10月3日(金)～令和7年11月30日(日)

※前期 令和7年10月3日(金)～令和7年10月31日(金)

後期 令和7年11月1日(土)～令和7年11月30日(日)

II期「にぎわう人々」令和7年12月5日(金)～令和8年1月18日(日)

III期「水の意匠」令和8年1月23日(金)～令和8年3月8日(日)

IV期「春の花鳥」令和8年3月13日(金)～令和8年5月10日(日)

※前期 令和8年3月13日(金)～令和8年4月10日(金)

後期 令和8年4月11日(土)～令和8年5月10日(日)

会期中は無休（ただし、12月29日(月)～1月1日(木)は休館。また、催事等で変更になる場合があります。）

※展示状況は、ホームページ掲載の出品目録にてお知らせします。

(2) 開館時間

午前9時00分～午後4時30分（最終入館：午後4時00分）

(3) 会場

名古屋城西の丸御蔵城宝館内展示室（中区本丸1-1）

(4) 観覧料

無料（別途名古屋城観覧料500円が必要です）

※11月1日(土)～30日(日)は、「本丸外の無料化実証実験」のため、観覧料は不要です。ただし、本丸エリアの観覧は、観覧料が必要です。

(5) 内容

別紙開催要項をご参照ください。

＜参考図版＞

I 期「将軍を迎える」



重要文化財 名古屋城本丸御殿障壁画「帝鑑図〔褒奨守令〕」部分 寛永11年（1634）

II 期「にぎわう人々」



重要文化財 名古屋城本丸御殿障壁画「風俗図〔綱引・見世物〕」部分 慶長19年（1614）



名古屋市指定有形文化財 「享元絵巻」 大乘院・大須観音・七寺・西本願寺掛所部分
江戸時代中期

Ⅲ期「水の意匠」



重要文化財 名古屋城本丸御殿障壁画「岩波禽鳥図」 寛永 11 年（1634）

Ⅳ期「春の花鳥」



重要文化財 名古屋城本丸御殿障壁画「枝垂桜図」 寛永 11 年（1634）

2 報道機関向け取材対応

(1) 日時

令和7年10月2日(木) 午後2時から会場での対応ができます。

随時名古屋城調査研究センター (tel. 231-2481) までご連絡ください。

※ 解説をご希望の場合は担当学芸員との日時調整が必要となりますので、必ず事前に名古屋城調査研究センター (tel. 231-2481) までご連絡いただきますようお願いいたします。

(2) 場所

名古屋城西の丸御蔵城宝館内展示室 (正門入ってすぐ)

(3) 内容

各自でご覧いただくほか、担当学芸員が解説することもできます。展示室内の解説は、30～40分程度を予定しています。解説の前後に各自でご覧いただくこともできます。

以上